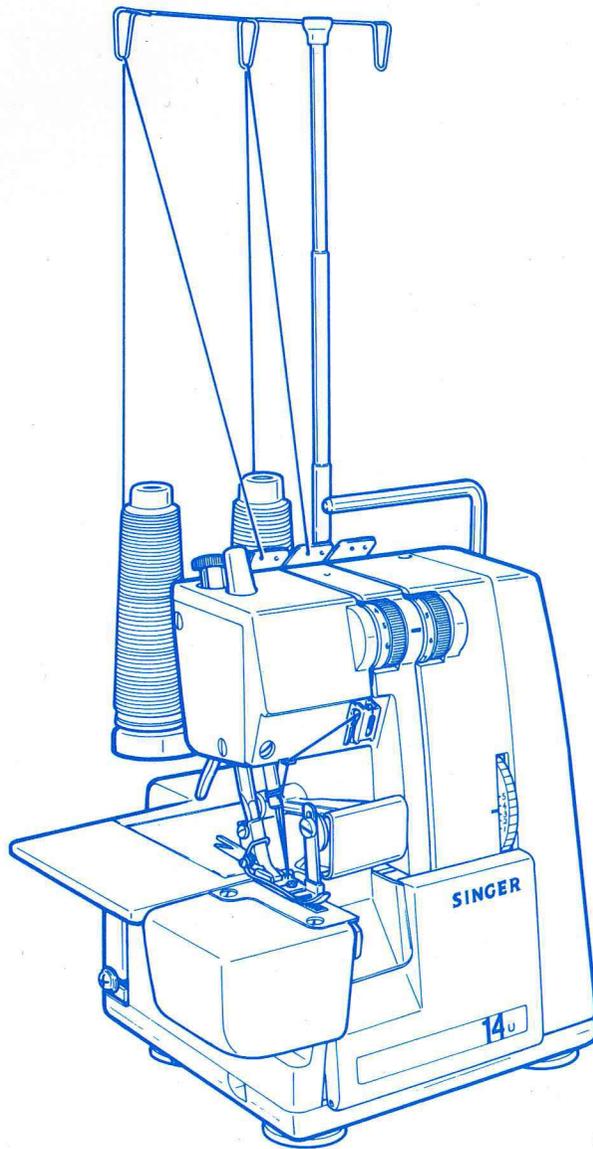


14_U 2本糸

縁かがりミシン
使用の手びき



SINGER^{*}
シンガーミシン

PROFESSIONAL 14U型 縁かがりミシンの紹介

このたびは、シンガー14U型縁かがりミシンをお買い上げいただき、ありがとうございます。

このミシンは、ローン、ジョーゼット、トリコットなどの薄ものから、木綿、ジャージー、デニムなどの厚ものまで、あらゆる布地にすぐれた機能を発揮いたします。この説明書をよくお読みいただき、正しく、かつ末永くご愛用くださるよう、お願いいたします。

シンガーミシンを安全にお使いいただくために次のことを お守りください。

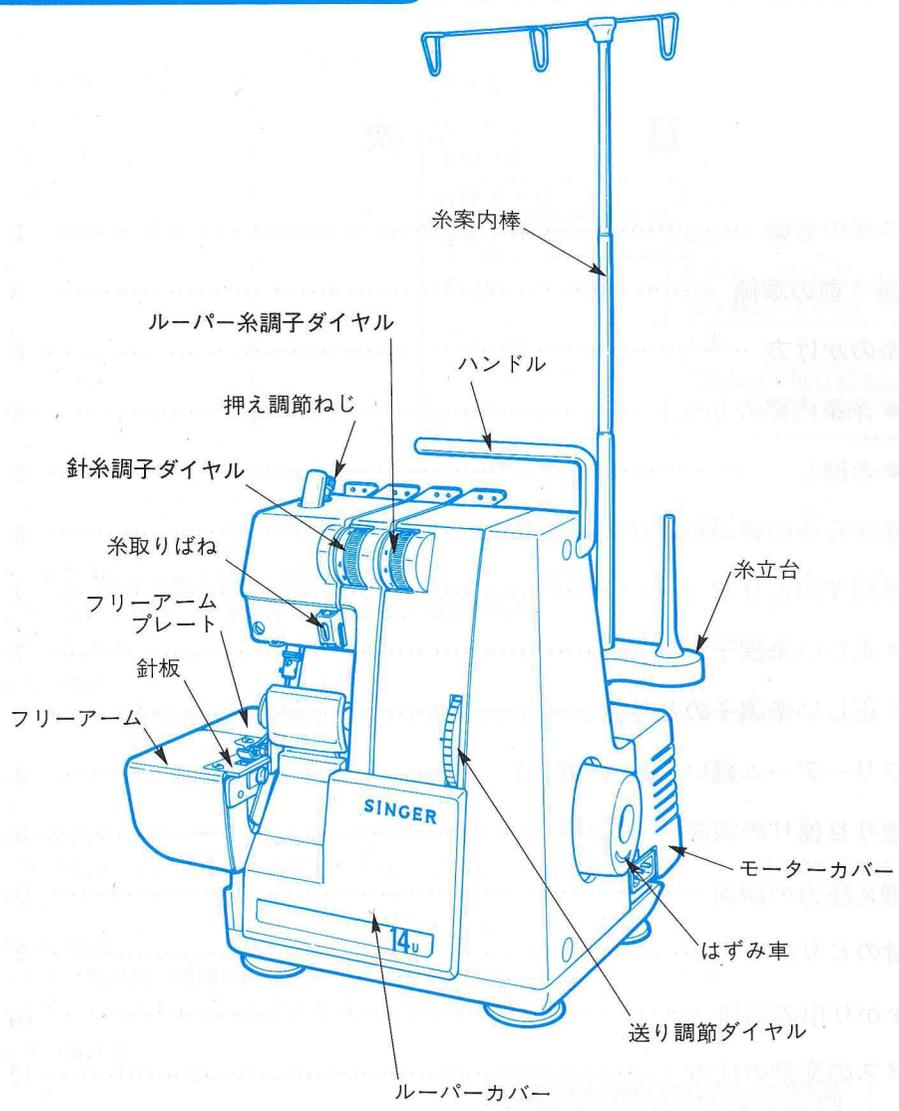
- ミシンを使用しないときは、必ず電源コードをコンセントからはずすこと。
- 付属のシンガーミシン専用コントローラーは落としたり、上に物をのせたりしないようていねいに取り扱うこと。
座ブトンの下などにおいて使用しないこと。
- 裁縫をするときは縫う部分をよく見ながら針やメスでケガなどせぬよう注意すること。
- ミシンを移動するときは、ハンドル以外の所は持たないこと。

シンガー社は皆様に常に最新の裁縫性能を提供するために、必要に応じてこのミシンの外観、デザイン又は付属品を変更することがあります。

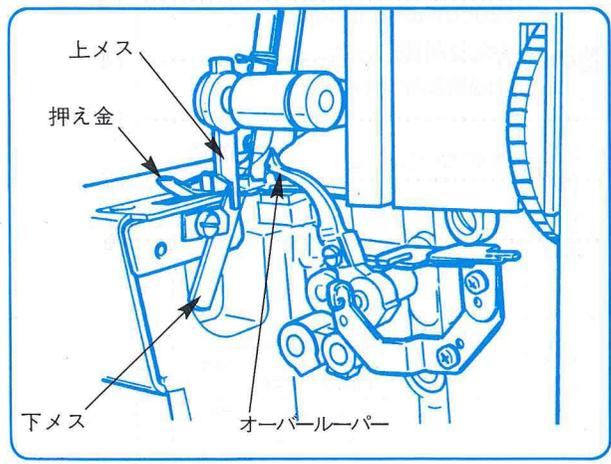
目 次

| | |
|-------------------------------|----|
| 1. 各部の名称 | 2 |
| 2. 縫う前の準備 | 3 |
| 3. 糸のかけ方 | 4 |
| ● 糸案内棒のセット | 4 |
| ● 糸通し | 5 |
| 4. 糸からみの確認およびためし縫い | 6 |
| 5. 糸調子のとり方 | 7 |
| ● 正しい糸調子 | 7 |
| ● 正しい糸調子のとり方 | 7 |
| 6. フリーアーム縫い(筒もの縫い) | 8 |
| 7. 送り目盛りの調節 | 8 |
| 8. 押え圧力の調節 | 9 |
| 9. 針のとりかえ方 | 9 |
| 10. かがり巾の調節 | 10 |
| 11. メスの交換の仕方 | 12 |
| 12. 注 油 | 13 |
| 13. ミシンランプを取り付けるとき | 13 |
| 14. 調子よく縫えない原因とその調整の仕方 | 14 |
| 15. 布地、糸および針の関係 | 15 |
| 16. 附属品の明細 | 16 |
| 17. 14 _u 型仕様 | 16 |

1.各部の名称

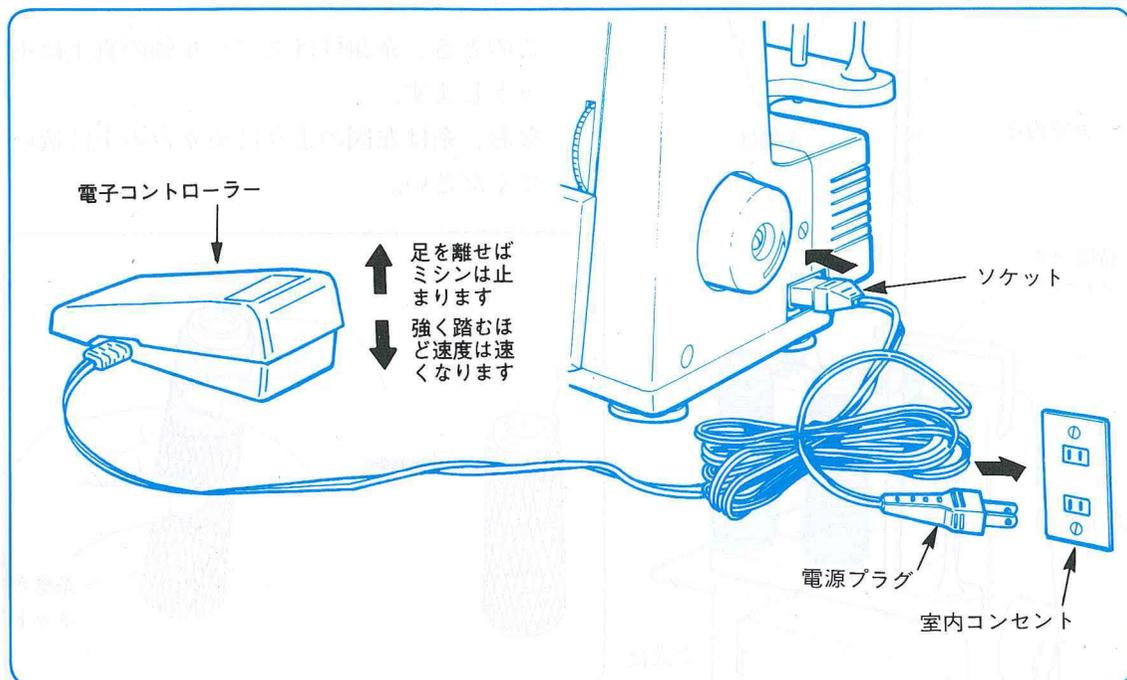


ルーパーカーバーを開いたところ



2. 縫う前の準備

コントローラーのソケットをミシン本体に、電源プラグを室内コンセントに差し込みます。



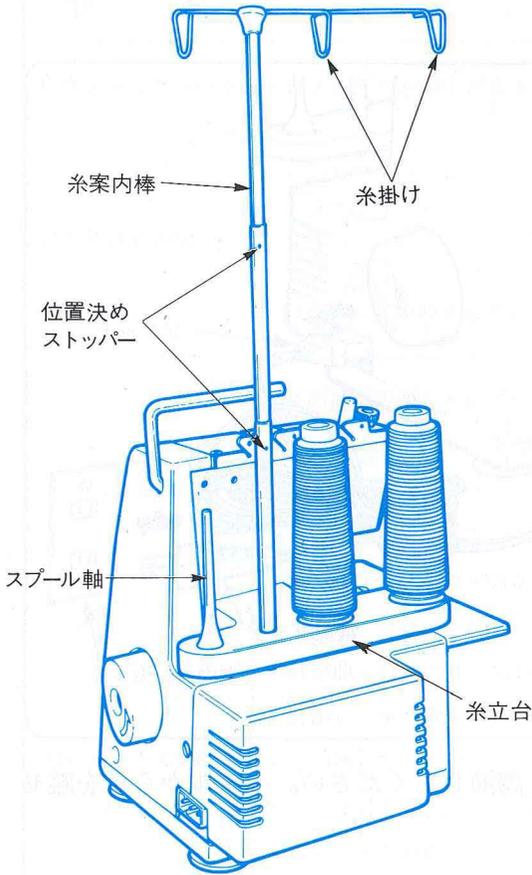
コントローラーのペダルの踏み加減で縫い速度を調節してください。ペダルから足を離せば、ミシンは止まります。

ご使用上の注意

- ミシンを連続してお使いになりますと、モーターが少し暖かくなりますが、性能上は全く差しつかえありません。
- モーターの回転中、はずみ車と反対側のモーターカバーの通風孔から小さな火花が見えますが、これはモーター内のカーボンブラシと整流子との間で整流作用が行なわれているためです。安心してそのままご使用ください。
- ミシンを使用しないときは、電源プラグを室内コンセントから抜いてください。
- コントローラーの上に物をのせないでください。

3.糸のかけ方

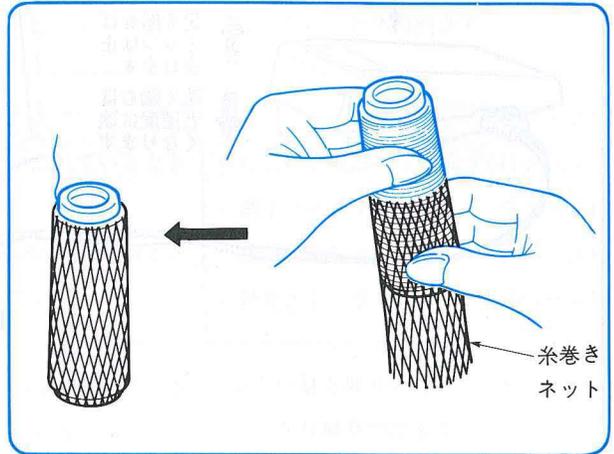
●糸案内棒のセット



糸案内棒をいっぱい伸ばし、1段目と2段目のつなぎ部にある位置決めストッパーによりセットします。

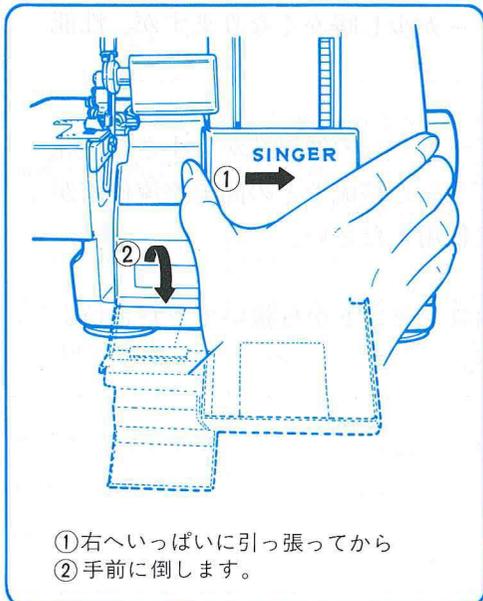
このとき、糸掛けはスプール軸の真上にセットします。

なお、糸は左図のように糸立台の上に置いてください。

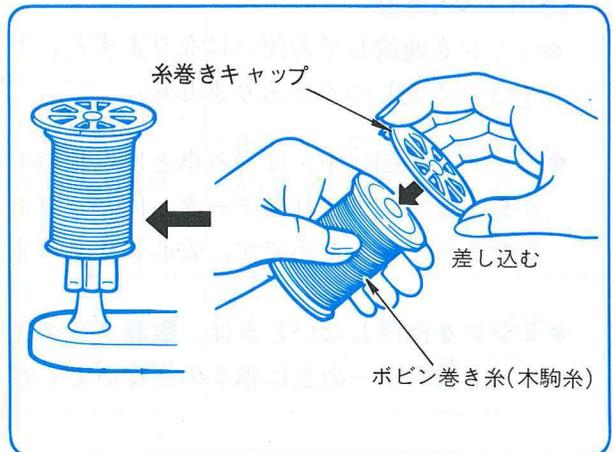


化繊糸などのほつれやすい糸は、付属の糸巻きネットを下からセットしてご使用ください。

ルーパーカバーの開け方



- ① 右へいっぱい引っ張ってから
- ② 手前に倒します。

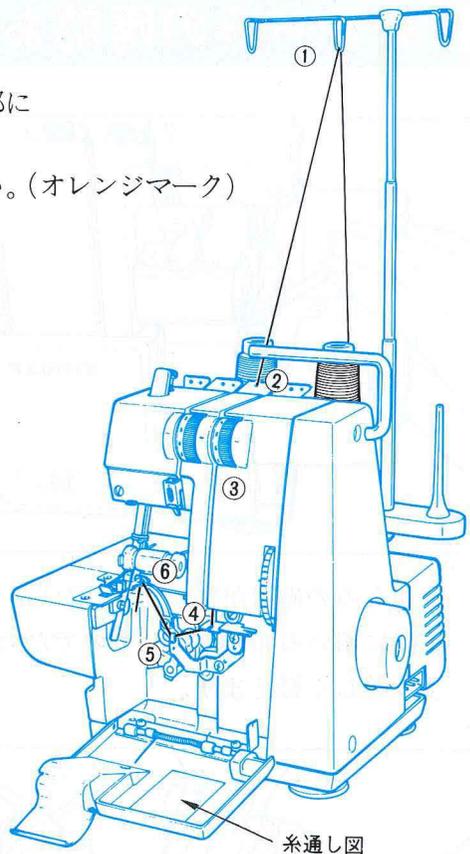
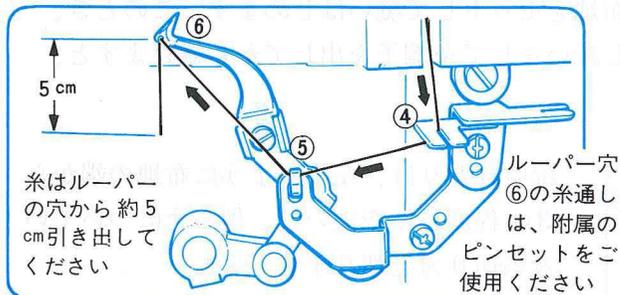
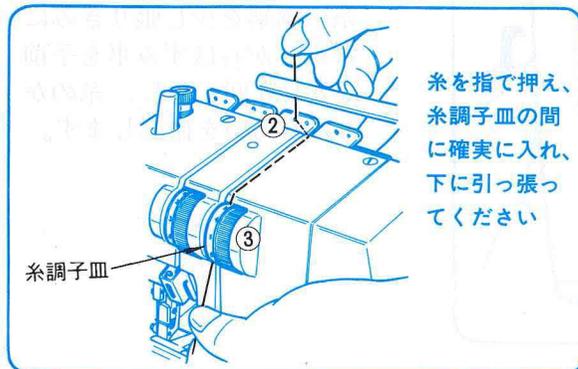


ボビン巻き糸(木駒糸)の場合は、付属の糸巻きキャップをボビン(木駒)の穴に差し込んでご使用ください。

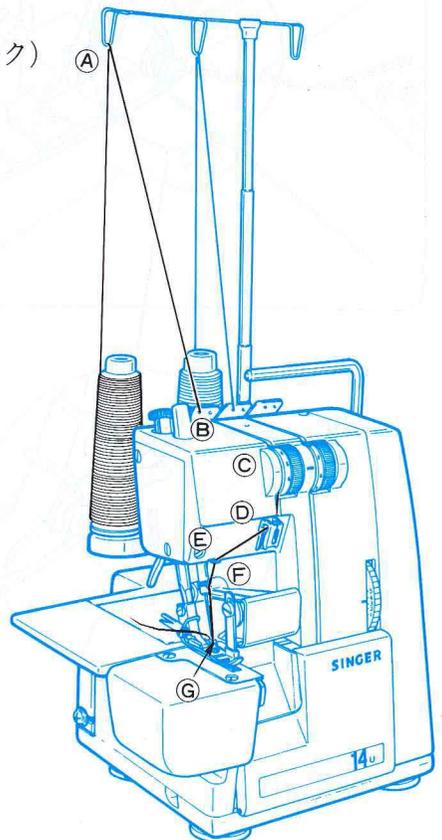
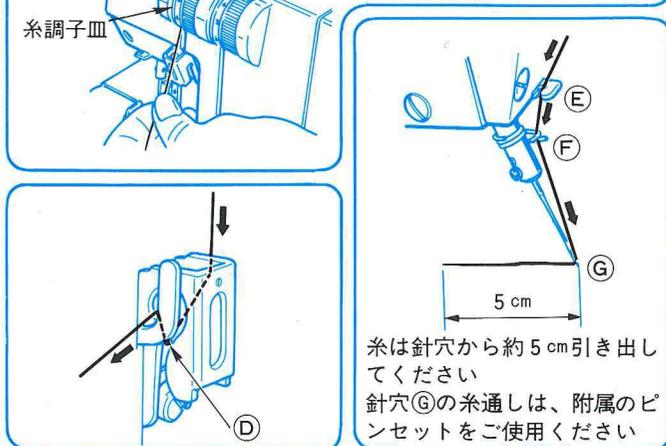
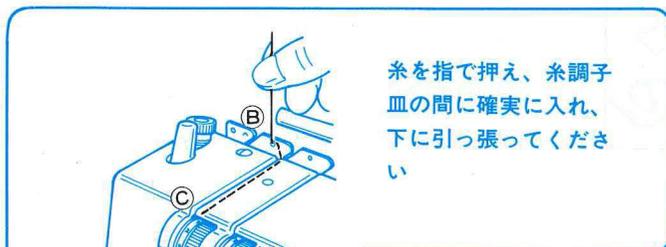
●糸通し

糸の通し方をまちがえますと、正しく縫えません。
ルーパーカバー内側に糸通し図が、また各糸案内内部に色表示がしてありますので参考にしてください。

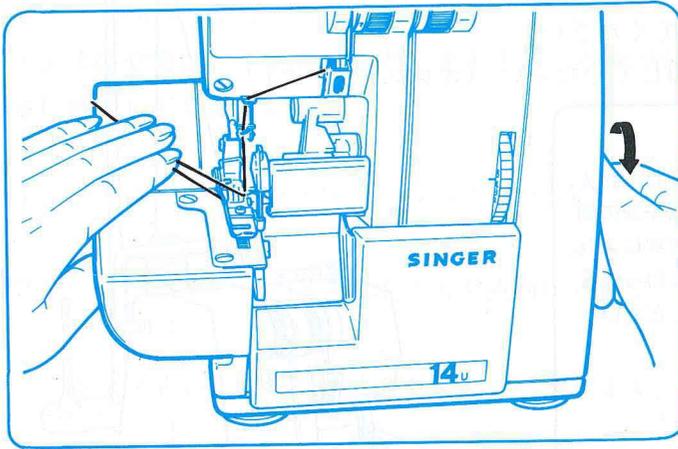
1. ルーパー糸を①～⑥の番号順に通してください。(オレンジマーク)



2. 針糸をA～Gの順に通してください。(グリーンマーク)
このとき、上メスを裁断中止位置にしておきますと糸は通しやすくなります。(9ページ参照)

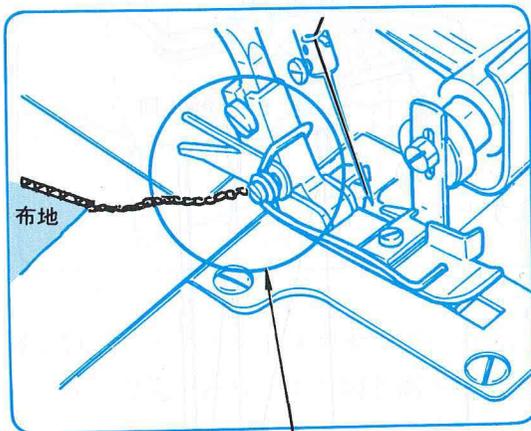


4. 糸からみの確認およびためし縫い

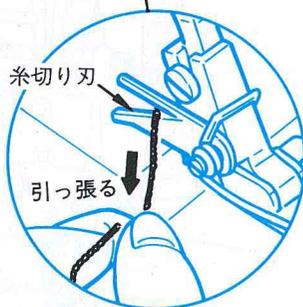


糸通しが終わりましたら、左図のようにルーパー糸、針糸の両端を少し張りぎみに押えながらはずみ車を手前に2～3回まわし、糸のからみぐあいを確認します。

糸からみの確認が終わりましたら、布地をセットして縫いはじめます。このとき、実際に用いる布地と同じものでためし縫いをして糸調子を出してから縫いますと、より美しく縫えます。



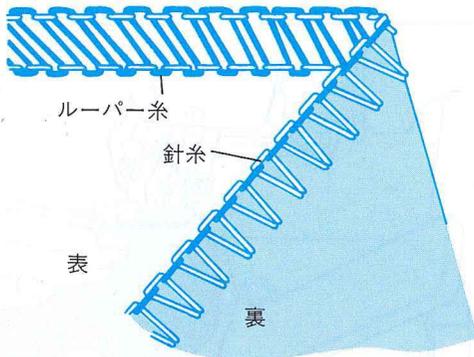
縫い終わりは、左図のように布地の端から3 cm程度長く空縫いし、押え金についている糸切り刃で切ります。



5. 糸調子のとり方

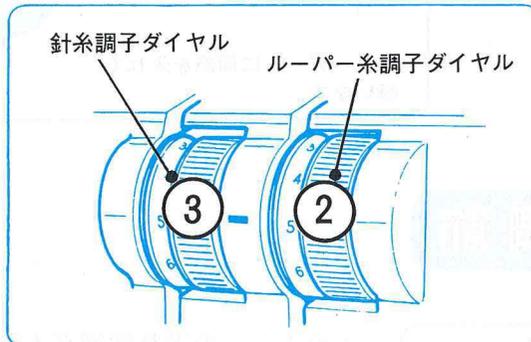
布地の種類や糸の太さなどの条件にあわせて、正しい糸調子をとってください。
このミシンの糸調子ダイヤルは一回転式となっており、糸調子ダイヤルの数字が大きくなるほど糸調子は強くなります。

● 正しい糸調子

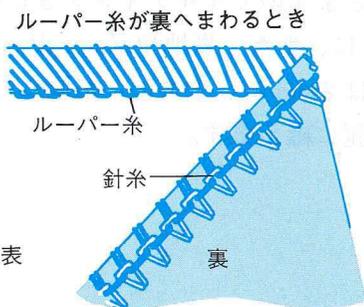


糸がタオル地のように
なった時は、糸調子皿に
糸が入っていない場合が
ありますので、糸通しを
やりなおしてください。

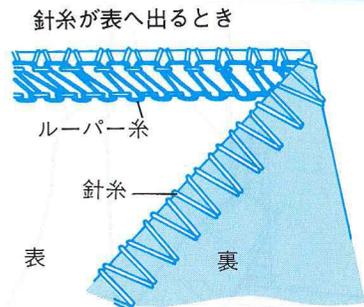
糸調子ダイヤルを下記の目盛りに合わせてください。



さらに、より美しい縫い目を得るために、各ダイヤルを調整してください。

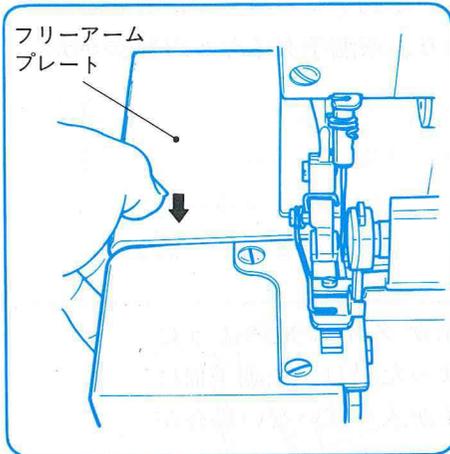


針糸調子ダイヤルを数字の小さい方へ
回すかまたは、ルーパー糸調子ダイヤ
ルを数字の大きい方へ回す。

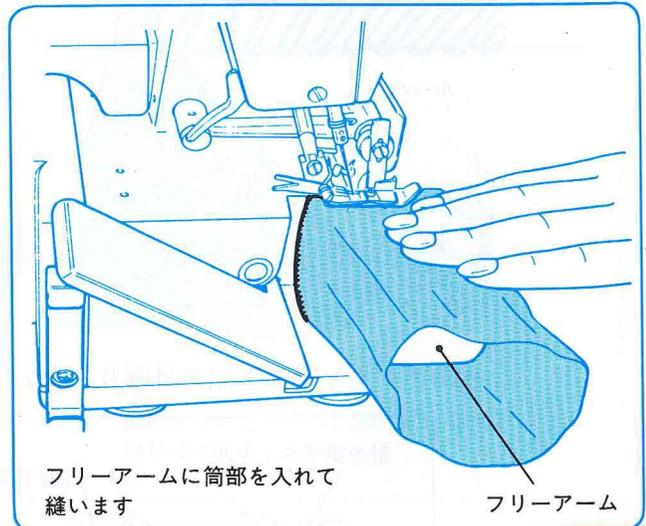


ルーパー糸調子ダイヤルを数字の小さ
い方へ回すかまたは、針糸調子ダイヤ
ルを数字の大きい方へ回す。

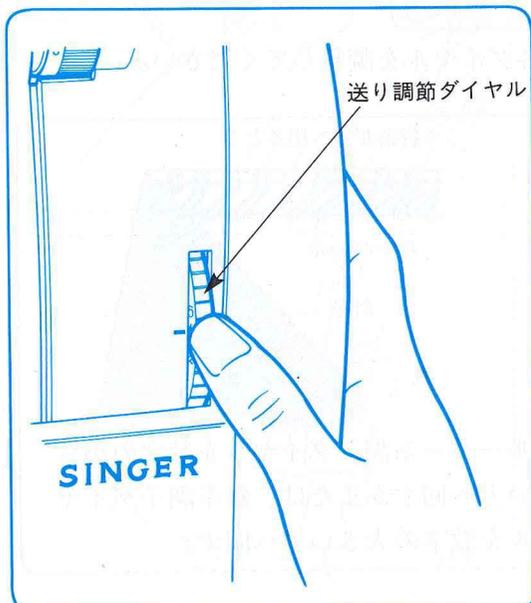
6. フリーアーム縫い (筒もの縫い)



左図のように、フリーアームプレートをおし上げるだけで、このミシンはフリーアームとなり、筒もの縫いがとてもしやすくなります。

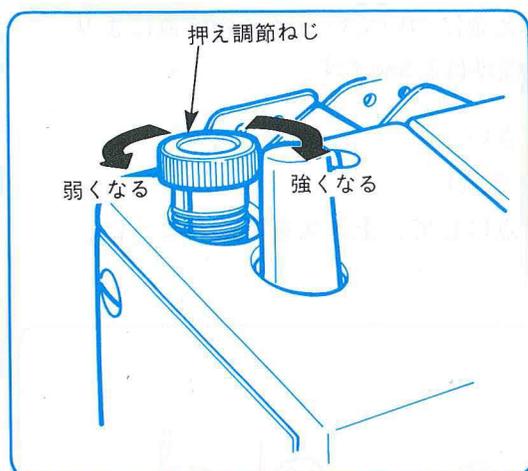


7. 送り量の調節



このミシンの送り調節ダイヤルは、普通を使用するときの3mmになっています。簡単に調節ができますのでキルティングなどの厚物には4mmに、また、裏地やジョーゼットのような薄地は2mmにしますと、布地にしわが寄らず綺麗に縫えます。

8. 押え圧力の調節



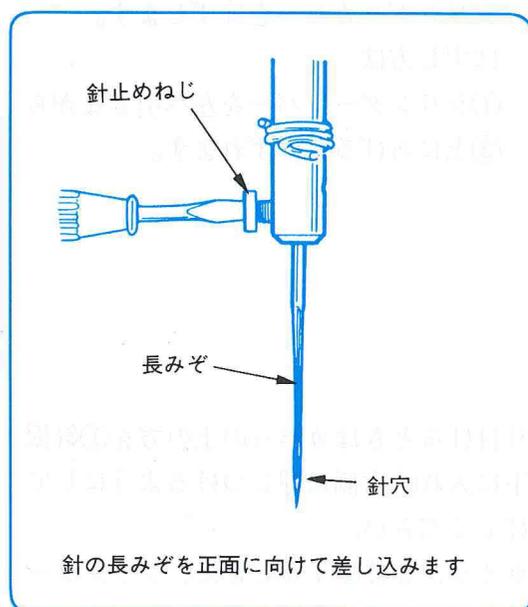
このミシンの押え圧力は、普通の布地用に調整してあります。

極薄ものや、極厚ものをお縫いになるときに、押え圧力の調節が必要な場合があります。

薄もの……押え圧力を弱くする（-方向）

厚もの……押え圧力を強くする（+方向）

9. 針のとりかえ方



針は、シンガーCat. No.2053 #10, #14,又はBL×1 #11, #14をご使用ください。

***家庭用ミシン針は使用できません。**

針の取りはずし方

- 必ず電源プラグを抜いてください。
- はずみ車を手前に回し、針をいちばん上まで上げ、針止めねじをドライバーでゆるめて、針を取りはずします。

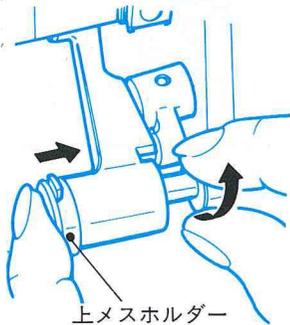
針の取り付け方

- 左図のように、針の長みぞを正面に向け、針棒の穴のいちばん奥まで差し込みます。
- 針の向きが狂わないようにしっかり押え、針止めねじを確実に締めてください。

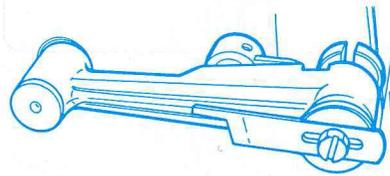
10. かがり巾の調節

かがり巾は、メスによる布地の切り巾と、押え金についているメスの位置により調節します。(3.5mmから5mmまで調節可能) 標準は3.5mmです。

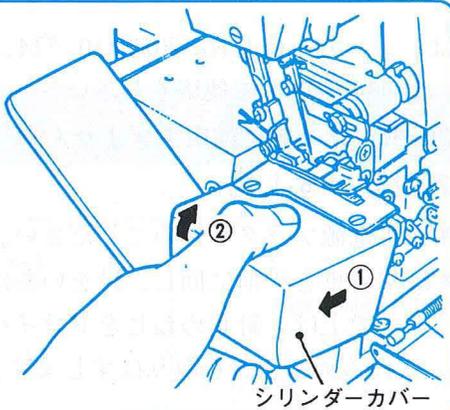
1. はじめに必ず電源プラグを抜いてください。
2. ルーパーカバーを開きます。(4ページ参照)
3. はずみ車を手前に回し、上メスを最上点にして、上メスを下図のように、裁断中止位置にします。



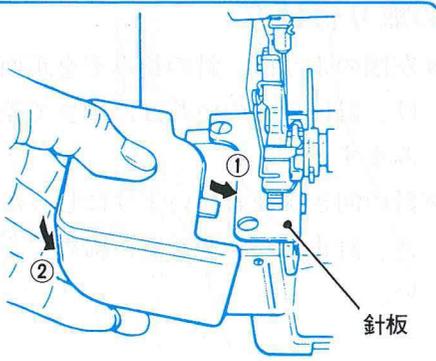
上メスホルダーを右へいっぱい押し、つまみを矢印の方へ回しますと、



図のように上メスは、裁断中止位置になります



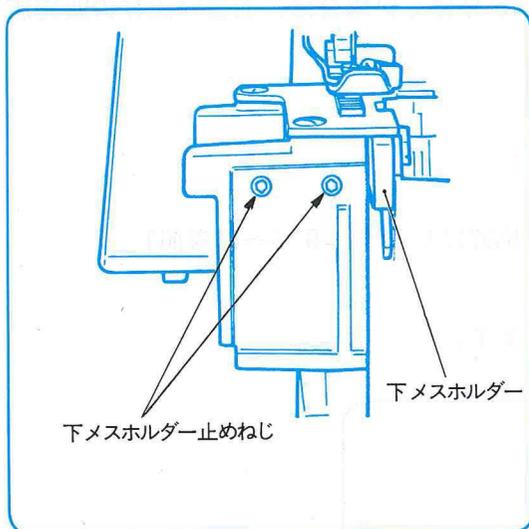
4. シリンダーカバーをはずします。
はずし方は
①シリンダーカバーを左へ引きながら
②上にあげるとはずれます。



取り付けるときはカバーの上の方を①針板の下に入れ②右側に押しつけるようにして下げてください。

*** ミシンを移動するときに、シリンダーカバーの部分を持たないでください。**

5. 下メスホルダー止めねじ(2ヶ)をゆるめ、下メスホルダーを右、または左に寄せ、止めねじを締めます。

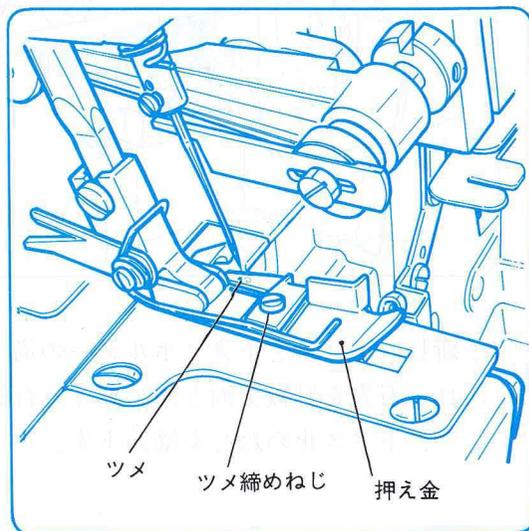


(かがり巾を広くしたいときは右へ、狭くしたいときは左へ寄せます。)

このとき、下メスの刃先を針板上面と同じ高さに合わせてください。

6. シリンダーカバーを取り付けます。

7. 押え金についているツメ締めねじをゆるめ、ツメをカット巾に合わせて、右または左に寄せ、ねじを締めます。



8. 上メスをもとの位置にもどします。

9. ためし縫いをします。

ツメの位置が悪いと、かがり巾よりカット巾が狭くなったり、逆に広がって布縁が巻かれたりしますので、必ずためし縫いをして、正しいツメ位置を決めてください。

なお、布地の厚さや種類などによっても、縫い上に多少変化が見られることもありますので、そのときは調整してください。

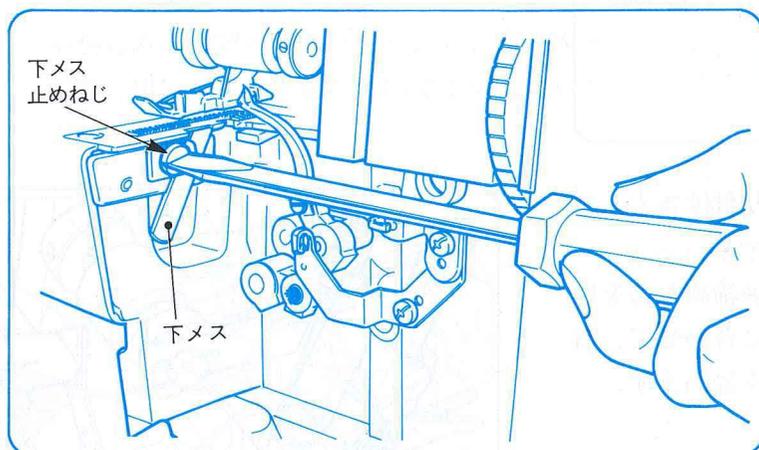
***調整がわかりにくい場合は、お買い上げの販売店に依頼してください。**

11. メスの交換の仕方

下メスが切れなくなったら交換してください。

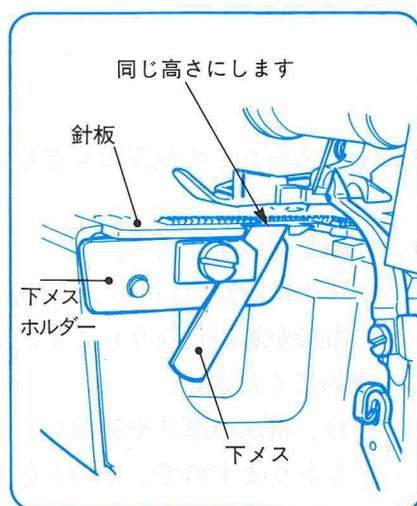
下メスの交換は、下記の要領でできますが、わかりにくい場合は、お買い上げの販売店等に依頼してください。

1. はじめに必ず電源プラグを抜いてください。
2. ルーパーカバーを開き、上メスを裁断中止位置にします。(9ページ参照)
3. 下メス止めねじをゆるめ、下メスはずします。



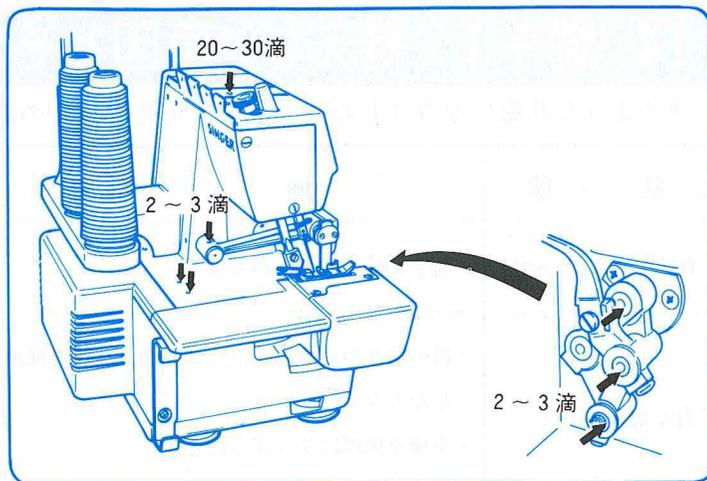
4. 新しい下メスを下メスホルダーの溝に入れ、刃先を針板上面と同じ高さに合わせて、下メス止めねじを締めます。

5. 上メスをもとの位置にもどします。

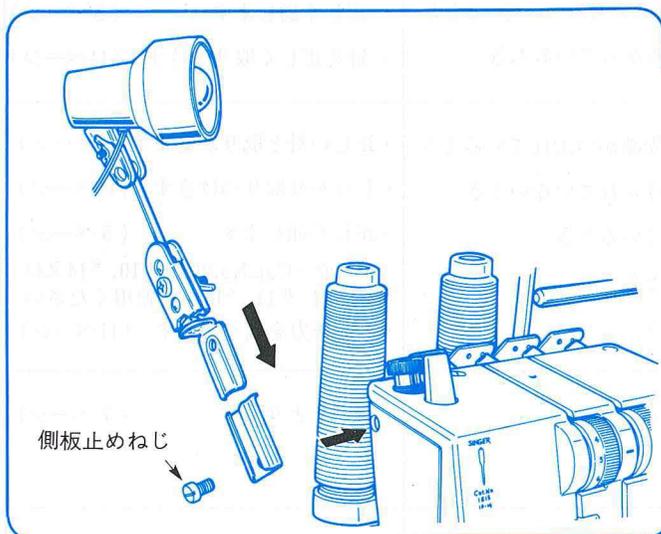


12. 注 油

このミシンの大切な部分には、特殊な材料を使用しておりますので、注油の必要はありませんが、右図に示した個所には、定期的に注油してください。



13. ミシンランプを取り付けるとき



ミシンランプ（別売）を使用するときは、側板止めねじを用いて左図のように取り付けてください。

14. 調子よく縫えない原因とその調整の仕方

次のような状態になりましたら、必要に応じて下記の調整をしてください。

| 状 態 | 原 因 | 調整のしかた(参照ページ) |
|-----------------------|--|--|
| 布地を送らないのは | <ul style="list-style-type: none"> ・押えの圧力が弱すぎるとき | <ul style="list-style-type: none"> ・押え圧力を強くします (11ページ) |
| 針が折れるのは | <ul style="list-style-type: none"> ・針の取りつけが悪かったり、曲った針を使用したとき ・布地を無理にひっぱったとき ・針止めねじがゆるんでいるとき | <ul style="list-style-type: none"> ・針を正しく取りつけるか、または正しい針と取りかえます (11ページ) ・手は布地が曲らないよう導くだけ ・ねじをしっかり締めます |
| 糸が切れるのは | <ul style="list-style-type: none"> ・糸の通し方がちがっているとき ・針が曲っていたり、先端がつぶれているとき ・糸調子が強すぎるとき ・糸が必要以外のところからみついているとき ・針の取りつけかたがちがっているとき | <ul style="list-style-type: none"> ・正しく通します (5ページ) ・正しい針と取りかえます(11ページ) ・調子をとります (7ページ) ・正しく通します (5ページ) ・針を正しく取りつけます(11ページ) |
| 縫い目がとぶのは | <ul style="list-style-type: none"> ・針が曲っていたり、先端がつぶれているとき ・針がしっかり取りつけられていないとき ・糸の通し方がちがっているとき ・ちがう針を使用したとき ・押えの圧力が弱いとき | <ul style="list-style-type: none"> ・正しい針と取りかえます(11ページ) ・しっかり取りつけます (11ページ) ・正しく通します (5ページ) ・シンガーCat.No.2053 #10, #14又はBL×1 #11, #14をご使用ください ・押え圧力を強くします (11ページ) |
| 縫い目の調子が悪いのは | <ul style="list-style-type: none"> ・糸調子が合っていないとき | <ul style="list-style-type: none"> ・調子をとります (7ページ) |
| 布地が縮むのは | <ul style="list-style-type: none"> ・糸調子が強すぎるとき ・糸の通し方がちがっていたり、必要以外のところからみついているとき | <ul style="list-style-type: none"> ・調子をとります (7ページ) ・正しく通します (5ページ) |
| ミシンが回らないのは | <ul style="list-style-type: none"> ・コンセントがはずれているとき ・モーターの故障のとき | <ul style="list-style-type: none"> ・コンセントを差し込んでください ・カーボンブラシを交換します |
| モーターから雑音がしたり、火花が大きいのは | <ul style="list-style-type: none"> ・モーターの故障のとき | <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンブラシを交換します ※カーボンブラシの交換は、お買い上げの販売店に依頼してください |

15. 布地, 糸及び針の関係

| 布地の種類 | | 糸の種類 | 針 シンガーCat.No.2053 又はBL×1 |
|-------|---------------------------------------|---|-----------------------------|
| 薄地 | ローン, オーガンジー, ポイル, ジョーゼット, ポーラ等 | 綿 #100 絹 #100 スパン #80~ #90 テトロン #80~ #100 | # 10 # 11(BL×1) |
| 普通地 | モスリン, サッカー, サテン, ギャバジン, ブロード等 | スパン # 60~ # 80 綿 # 60~ # 80 絹 # 50 テトロン # 60~ # 80 | # 10, # 14 # 11(BL×1) |
| 厚地 | オックスフォード, デニム, ツイード, コール天, サージ等 | 綿 # 40~ # 60 絹 # 40~ # 60 スパン # 60~ # 80 テトロン # 50~ # 60 | # 14 |
| ニット地 | トリコット | スパン # 80~ # 90 テトロン # 60~ # 80 | # 10 # 11(BL×1) |
| | ジャージ | スパン # 60~ # 80 テトロン # 60~ # 80 綿 # 60~ # 80 | # 10 # 11(BL×1) # 14 |
| | 毛糸編地 | スパン # 60~ # 80 テトロン # 50~ # 60 ウーリーナイロン ウーリーテトロン | # 14 |

16. 附属品の明細

(附属品箱)

- | | |
|-------------|--|
| 1. 針 5本セット | (シンガー Cat. No. 2053) #10...2本, #14...3本 |
| 2. ドライバー(中) | 1 |
| 3. 六角レンチ | 1 |
| 4. ピンセット | 1 |
| 5. 糸巻キャップ | 2 |
| 6. 下メス | 1 |
| 7. ブラシ | 1 |
| 8. 油差し | 1 |
| 9. ミシンカバー | 1 |
| 10. 糸巻きネット | 2 |

17. 14_U型仕様

| 項目 | 仕様 |
|------------|--|
| 縫い速度 | 最大1,500針/分 |
| 縫い目長さ(送り量) | 2～5mm |
| かがり巾 | 3.5～5mm(標準3.5mm) |
| 針棒ストローク | 27mm |
| 押え上り量 | 5mm |
| 使用針 | シンガー Cat. No. 2053 #10, #14 又はBL×1 #11, #14 |
| 使用糸数 | 2本 |
| ミシンの大きさ | 巾257mm×奥行231mm×高さ290mm |
| ミシンの重さ | 8.1kg |

修理サービス要領

◎修理サービスのご相談

1. このミシンのご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存して下さい。
2. 修理サービスは、無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談下さい。
3. 修理サービスについてお問合せやご不審のある場合は、別掲の各地区にある「お客様相談係」にお申し越し下さい。

◎修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できるよう体制を整えております。

◎無料修理保証期間後の修理サービス

1. 使用の手びぎに基づいて正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談下さい。
 - イ. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき
 - ロ. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき
 - ハ. ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき
 - ニ. ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき
 2. 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によっても元通りに修復できないことがあります。
 3. 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料の合計額となります。
- 140年以上もミシンを作り続けてきたシンガーは迅速で正しいサービスをモットーとして全世界のご家庭に安心して使えるミシンをお届けいたしております。

(各地区の「お客様相談係」の住所は裏表紙をごらんください)

SINGER
シンガーミシン

Form U3829(Rev .290)
Part No. 379183-001 (Rev. 3)